

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

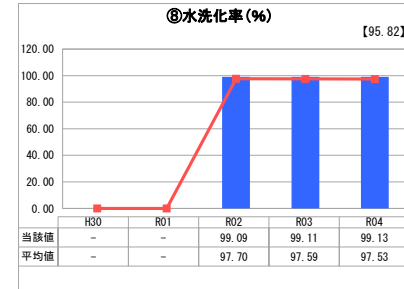
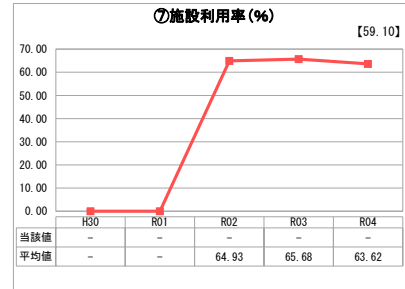
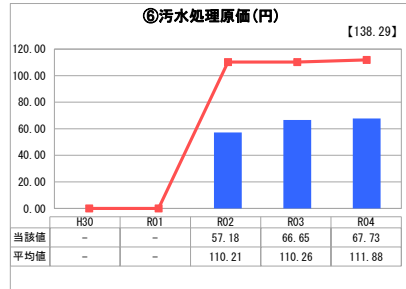
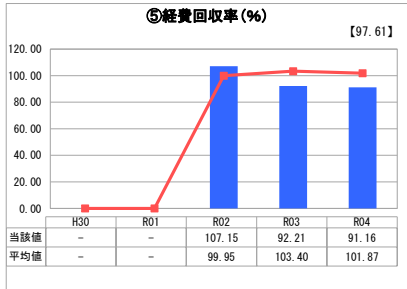
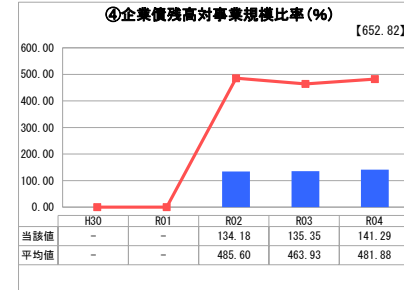
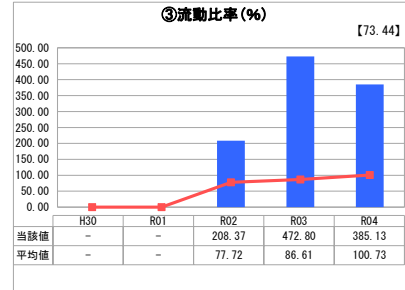
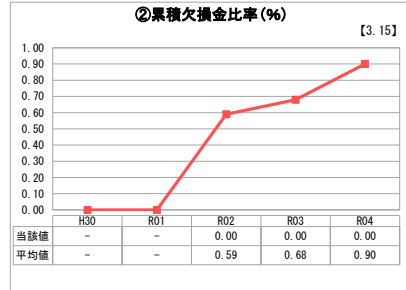
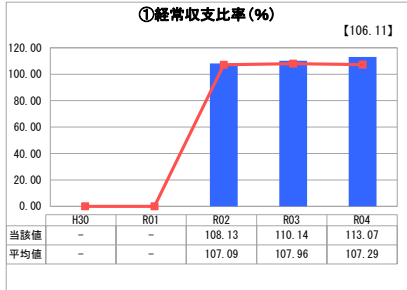
埼玉県 朝霞市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Aa	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	81.74	97.80	83.80	1,155

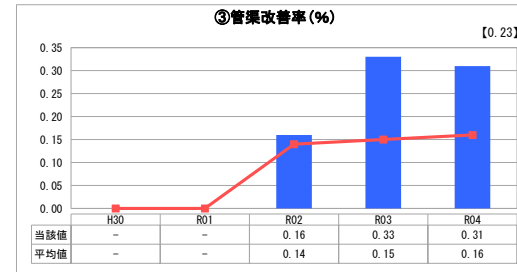
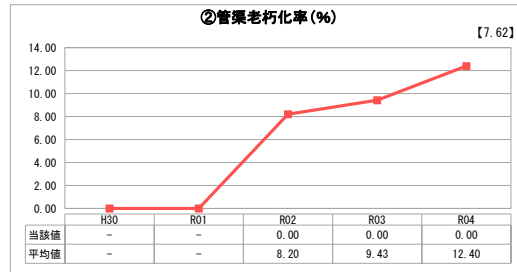
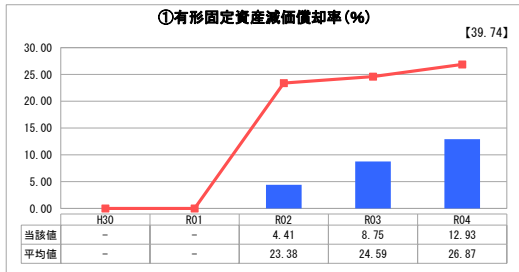
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
144,062	18.34	7,855.07
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
141,112	11.01	12,816.71

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率  
令和4年度決算において100%を超えていますが、財源の一部は一般会計からの繰入金で補っている状況です。

②累積欠損金比率  
欠損金は令和4年度決算時点で発生していません。

③流動比率  
100%を上回っており、一年以内に支払うべき債務に対する支払能力があることを示しています。なお、流動比率が下落した要因としては、流動負債のうち未払金が前年度に比べて333.9%増加したことが挙げられます。

④企業債残高対事業規模比率  
類似団体平均、全国平均と比較して低い値で推移していますが、企業債の発行額が償還額を上回る傾向が続いており、数値自体は上昇が見込まれます。

⑤経費回収率  
⑥汚水処理原価  
経費回収率は100%を下回っており、汚水処理費を使用料で賄うことができていません。他方、汚水処理原価は類似団体平均、全国平均と比較し、低い値で推移していることから、維持管理費等の見直しに加え、使用料体系の見直し等も検討する必要があると考えられます。

⑧水洗化率  
類似団体平均、全国平均を上回る水準にあります。未接続世帯の減少を図るため、継続的に啓発活動を行っていきます。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均や全国平均より低い値で推移していますが、これは、法適用前に減価償却された資産が累計額として計上されていないことによるものです。

本市では、下水道施設の計画的な改修・更新のため、平成29年度からストックマネジメント事業に取り組んでおり、今後も計画に基づき、施設の適切な維持管理を行っていきます。

## 全体総括

本市の下水道事業は、下水道使用料や一般会計からの繰入金などで財源を賄っている状況です。繰入金については、一般会計の財政状況に影響される部分があるため、下水道使用料が事業運営の上で、重要な財源となります。しかしながら、コロナ禍により高まった在宅機運の落ちつきや、近年の節水意識及び節水技術の向上などによって、下水道使用料の収入額の減少傾向が見込まれます。令和2年度より法適用し、経営基盤の強化・財政マネジメントの向上等に取り組んでいるところですが、今後も引き続き、各指標の動向を注視し、より一層の適切な管理・運営を行って必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。